

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	芸術Ⅱ（音楽）	
科目基礎情報							
科目番号	0027		科目区分		一般 / 選択必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般教育科（託問）		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	「MOUSAⅠ」 教育芸術社						
担当教員	南 貴之,穴吹 昌子						
到達目標							
音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 発声の基本		正しい姿勢や呼吸法を高いレベルで身に付けられる。		正しい姿勢や呼吸法を身に付けられる。		正しい姿勢や呼吸法を身に付けられない。	
評価項目2 歌唱・器楽		歌と楽器による表現の違いを高いレベルで感じ取れる。		歌と楽器による表現の違いを感じ取れる。		歌と楽器による表現の違いを感じ取れない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A 学習・教育到達度目標 B							
教育方法等							
概要		音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。音楽に対する関心を高め、想像力豊かな有為な人格を育成する。					
授業の進め方・方法		・基礎的技能と表現能力を伸ばす。 ・音に対する敏感な感性を育てる環境に配慮する。					
注意点		とくになし					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、歌唱・器楽 ジュピター		正しい姿勢や呼吸法を身に付ける。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		2週	講義・鑑賞 古代ギリシア		歌と楽器による表現の違いを感じ取る。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		3週	講義・鑑賞 中世		歌と楽器による表現の違いを感じ取る。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		4週	講義・鑑賞 ルネサンス		歴史を奏でる名曲を聴く。A1:3,B1:1B2:1,2		
		5週	講義・鑑賞 バロック		歴史を奏でる名曲を聴く。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		6週	実技試験		歌と楽器による表現の違いを感じ取る。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		7週	実技試験		歌と楽器による表現の違いを感じ取る。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		8週	講義・鑑賞 古典派		歴史を奏でる名曲を聴く。 A1:3,B1:1B2:1,2		
	2ndQ	9週	講義・鑑賞 古典派		歌と楽器による表現の違いを感じ取る。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		10週	講義・鑑賞 古典派		ルネサンスから現代まで、数々の名曲を鑑賞し、作曲者の生涯、楽曲が生まれた文化的・歴史的背景を理解する。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		11週	歌唱・器楽 日本のうた		ルネサンスから現代まで、数々の名曲を鑑賞し、作曲者の生涯、楽曲が生まれた文化的・歴史的背景を理解する。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		12週	歌唱・器楽 日本のうた		ルネサンスから現代まで、数々の名曲を鑑賞し、作曲者の生涯、楽曲が生まれた文化的・歴史的背景を理解する。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		13週	講義・鑑賞 ロマン派		歌と楽器による表現の違いを感じ取る。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		14週	講義・鑑賞 ロマン派		歴史を奏でる名曲を聴く。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		15週	講義・鑑賞 近代・現代		歴史を奏でる名曲を聴く。 A1:3,B1:1B2:1,2		
		16週	講義・鑑賞 近代・現代		歴史を奏でる名曲を聴く。 A1:3,B1:1B2:1,2		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---